研修レポート ～ボホール＆リロアン ～

日時：2009 年 1 月 30 日（金）～2 月 4 日（水）

ワールドエクスプローラの人気商品フィリピンのボホールとリロアン。今年から料金掲載も始め、一旅で 2 度楽しめてしまうプランです。そのビザヤ諸島縦断、ボホール＆リロアンプランを実際に体験してきました。

今回のスケジュール

1/30 成田空港よりマニラ経由タグビララン へ　（ボホール ノバビーチリゾート宿泊）
1/31 イカダダイビング＆バリカサグダイビング　（ボホールノバビーチリゾート宿泊）
2/01 イカダダイビング＆パングラオ周辺ダイビング
　ボホールからドゥマゲティ経由リロアンへ　（リロアンマリンビレッジ宿泊）
2/02 スミロン＆リロアン周辺ダイビング　（リロアンマリンビレッジ宿泊）
2/03 リロアン周辺ダイビング･ドゥマゲティショッッピング　（リロアンマリンビレッジ 宿泊）
2/04 ドゥマゲティよりマニラ経由成田へ　（料金掲載しているプランでは復路はセブからの帰国となります）

2009 年 1 月 30 日（金）

○マニラ空港で乗り継ぎ→タグビラランへ

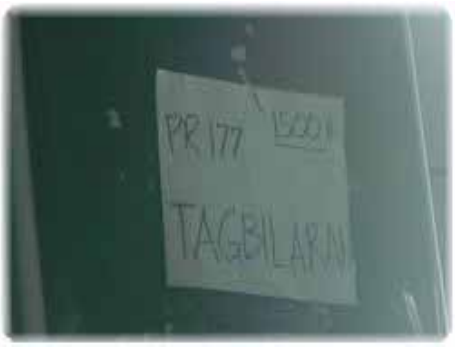
フィリピン航空からフィリピン航空の乗り継ぎなので、ターミナル 2 内での乗り継ぎでした。フィリピン航空は、第 3 ターミナルありますが、フィリピン航空同士の乗り継ぎであれば、ターミナル 2 内での乗り継ぎだけになりますので、移動もとても楽です。

入国審査完了後、国内線ターミナルに移動する前に、預け荷物を一度ターンテーブルから取り出し、再度預け荷物カウンター（カウンターというほど大きなものではありません）に荷物を預け両替をして移動です。

同じターミナル内ではありますが、国内線と国際線の出入り口が別になっているため、国際線到着後、一度空港の外に出て、国内線出発入り口に行かなければなりません。

同じターミナル内だから屋内で移動が出来るのだと思っていましたので、一度外に出てしまってよいのか、戸惑いましたが、それほど大きなターミナルではないので、簡単に国内線入り口まで行けました。

乗り継ぎの場合　到着出口は 1 階です、国際線出口を出た付近にエスカレーターがありますので、そのエスカレーターを上っていくと、出発階に到着します。あとは、国内線入り口に向えば簡単です。



国内線も、国際線もターミナル内は同じようなつくりになっています。

国内線に関しては、搭乗ゲートのところに張り紙で行き先と便名、搭乗時刻が書いてありました。

広々としていますが、トイレの数があまり多くありませんので、余裕を持って行かれることをおすすめします。

国内線内でも、軽食がでます。クラッカーのようなお菓子と飲物です。1 時間 30 分ぐらいで、タグビララン空港到着。

タグビラランの空港小さな空港です。

空港の外で、ノバビーチスタッフのスタッフが待っています。空港から、ノバビーチリゾートまでは、車で約 30 分ぐらいで到着します。

○ノバビーチリゾート

2005 年の 2 月にまだスタンダートとデラックス、それと東屋が 1 つ出来上がった頃に研修に行きました。
その頃に比べると、プールや、スパまで出来上がっていて、見違えるほど進化していました。
プールは深いところで、150 ㎝もある、本格的なプールです。また、ボホールの水道水は、海水を含んでいるため、シャワー等は海水が混じっていますが、プールの水は真水を持ってきているので、ウエットスーツのままプールに飛び込むのは禁止です。子供用のプールもありますので、家族連れで行かれても子供も飽きない工夫がされています。

最近、オープンしました「ナサンドスパ」。殆どのお客様が、ダイビング終了後、利用しているそうです。
オイル等、マッサージの際に使用するものは日本から輸入しているものが殆どだそうです。オイルマッサージフルコース 2 時間で 2,000 ペソを体験しました。ダイビングの疲れもなくなるほど、癒される 2 時間となりました。オイルも自分で好きな種類を選べたり、体調に合わせた調合もしているので、毎日様々なオイルを試してみてください。
最近ではホットストーンセラピーも始めています。お客様の人数が多いと、夜は時間がかぶってしまうこともありますので、リゾートに到着しましたら、お早目のご予約をおすすめします。

スパの隣にあるのが、サロン ナサンドです。スパの後や、食事の後にこちらに移動して、ログ付けや皆で楽しくおしゃべりしています。
このサロンはプールサイドにあるので、プールサイドのサンデッキチェアに座ってお酒を飲むのも、カップルの方やご夫婦にはおすすめです。
ノバビーリリゾート周辺は何も無いので、夜は波の音だけが聞こえてくるだけで、本当に、静かなリゾートです。この、静かな場所にいるだけでも、日ごろの疲れや、ストレスから開放された気がしました。

ノバビーチリゾートの部屋は、シーサイドヴィラ・トレスヴィラ・デラックス・スタンダードに分かれています。シーサイドヴィラ：2 部屋、トレスヴィラ：3 部屋、デラックス 8 部屋、スタンダード 2 部屋です。お部屋を広く使用されたい方はトレスヴィラ以上のお部屋がおすすめです。

シーサイドヴィラの内装

トレスヴィラの内装

デラックスの内装

2009年1月31日(土)

ボホール　ノバビーチリゾート　ハウスリーフ

エントリー:6:49　エキジット7:36　47分ダイビング　水温27度　天気:晴れ

1本目は初のイカダダイビング。お手製の竹で作られたイカダに乗り込みます。もちろんエンジンついていなくボートマンが竹で作った竿で水底を押して進んでいきます。結構な人数が乗船していましたがイカダは意外にも丈夫。すいすい進んでポイントまで数分で到着。あっという間です。
イカダから機材を背負いエントリー。浅瀬のエダサンゴを抜けると、そこはマクロ天国の海でした。
ニシキハゼやヤマブキハゼ、ニチリンハゼ、オドリハゼなどハゼ天国。ハゼ好きにはたまらないポイントです。思う存分ハゼを楽しみあっという間に時間が過ぎていきました。

ボホール　ノバビーチリゾート　バリカサグ　カテドラル

エントリー:9:51　エキジット:10:33　42分ダイビング　水温27度　天気:晴れ

ノバビーチにきたらやはりバリカサグ！！！もちろんイカダでいくハウスリーフもよいけれどやはりバリカサグに行かないと。と楽しみにしていたポイント。バリカサグまでたったの 30 分。船に弱い方もあっという間についてしまうので船酔いの心配はありません。カテドラルは島の北側に位置するポイントでドロップオフを壁沿いに泳いでいきます。エントリー時には流れはまったく無く快適にしばらく泳いでいくと遠くから“カンカンカン”と響くタンクの音が。そうですバラクーダの群がでた合図です。そこからが長かった。泳げど、泳げど、バラクーダの姿が一行に見えない。水中に響き渡るタンクの音。そして厄介なことに流れが逆になったり、穏やかになったり、また逆になったり。それでもバラクーダ見たさに皆必死に泳ぎます。やはりバリカサグに入ったからにはバラクーダは一目見ておきたい。そして、あわよくばゴールデンバラクーダも。ゴールデンバラクーダは比較的大きな群の中に1匹だけいることがある、黄金色に光るバラクーダ。ゴールデンバラクーダを見た人は幸せになれるというジンクスがあります。まだ見たことないゴールデンバラクーダ。ぜひとも一目見てみたい。そのことだけを思いながら、泳いでいるとカメが。そしてまたカメ。またまたカメ。カメもいいけどやはりバラクーダ。そう思いながら泳いでいくと今度はナポレオン登場。たどり着くまで少々寄り道をしてしまいましたが、ようやく群に到着。結構大きな固体の群です。これは？と、期待が高まりましたが残念ながらゴールデンバラクーダはお留守でした。
でも大きな固体の群は迫力満点。頑張って長い距離を泳いだ甲斐がありました。

ボホール　ノバビーチリゾート　バリカサグ　サンクチュアリ

エントリー：12：01　エキジット：12：45　 44分ダイビング　水温 27 度　天気：晴れ

バリカサグ2本目はサンクチュアリというポイントへ。このポイントの前にはリゾートのビーチが広がっています。リーフ内なので流れもなく穏やか。ここではギンガメアジを狙ってエントリー。が、ギンガメアジは何処に？残念ながらどこかに散歩にいってしまったようです。それでも綺麗なサンゴとサンゴに群れているハナダイやスズメダイに癒されまったりダイビングとなりました。1本目がハードダイビングだったので次のダイビングに向け体力温存です。

ボホール　ノバビーチリゾート　バリカサグ　ブラックフォレスト

エントリー：13：22　エキジット：14：10　48 分ダイビング　水温27度

ボートの上でのランチタイムをはさんで最後のバリカサグダイビング。ブラックフォレストの名前の由来はリーフに黒いナンヨウサンゴがたくさん生息していてそれが黒い森のように見えるからだそうです。そしてここにもいました。バラクーダの群。異本目みた群が少し移動して丁度良くバッティング。やはりノバビーチリゾートのスタッフはバリカサグに精通しています。1本目見た群が、おそらくまたこの辺で見れるからと決めたポイント。まさしく有限実行です。そして今度はそんなに泳ぐことなく会えました。そして今回は浅瀬に上がってきていたので日の光に体が反射しキラキラ眩しく光輝いていました。何匹ぐらいいたでしょうか？おそらく 200 匹は軽くいたかと思います。

そんな光輝いているバラクーダを思う存分堪能できただけでも満足でしたが、さらにプラスアルファが。2本目で見ることのできなかった、ギンガメアジの群も会うことができました。
1日でバリカサグの良いところどり、見れるものは全てみたといった感じのダイビングになり満足でリゾートに戻りました。

ボホール　ノバビーチリゾート　ハウスリーフ　サンセットダイビング

エントリー：16：51　エキジット：17：44　53分ダイビング　水温 28 度　晴れ

本日のダイビングは終了となるはずだったのですが、甘い誘惑が。サンセットハウスリーフでニシキテグリが見れるとの話をスタッフから聞き、ニシキテグリみたいさに終了するはずがさらに1本追加。朝同様イカダですいすいとポイントまで行き、エントリー。浅瀬のエダサンゴの中を探します。ニシキテグリいました。いましたがチョコチョコと動くので写真が撮れない。
サンゴの枝の上に定着したと思いシャッターをきろうとすると、また枝と枝の間に移動する。50 分以上も格闘。納得いく1枚がとれないまま、日没になってしまうのでエキジット。うーん。もう1回リベンジしてみたいと思うダイビングでした。

2009 年2月1日（日）

ボホール　ノバビーチリゾート　ハウスリーフ

エントリー：6：49　エキジット：7：36　47分ダイビング　水温27度　天気：曇り

2日目も始まりはイカダダイブです。マクロ好きな私にはこのハウスリーフ内は天国のような場所です。見渡すとあちらこちらにマクロ生物が。昨日はハゼを堪能。今日も被写体はたくさん。バブルコーラルシュリンプにアカホシカクレエビ、オイランヨウイジ、オイランハゼあっという間にエキジット時間がきてしまい、残りのダイビングもこのポイントで。といってしまいそうなほど楽しいダイビングでした。

ボホールノバビーチリゾート　パングラオ　ホヨホイイースト

エントリー：9：15　エキジット　10：01　46分ダイビング　水温27度　天気：曇り

本日の1本目はホヨホイイースト。このポイントはノバビーチリゾートハウスリーフすぐ隣のポイント。ということはマクロ天国の海です。ハウスリーフ同様ハゼやウミウシ、エビなどマクロ好きにはたまらないポイントでした。

ボホール　ノバビーチリゾート　パングラオ　サンクチュアリー

エントリー：10：45　エキジット：11：28　46 分ダイビング　水温27　天気：曇り

パングラオ2本目はサンクチュアリーこのポイントはニシキアナゴが見れるとのこと。オレンジの体色は鮮やかときいていたので見るのを楽しみにしていたのですが、今日は巣穴から出が悪くちらほら。そして少し白濁りが入ってる水中でパラパラとしかいないニシキアナゴを見つけるのは一苦労。近くによると巣穴に隠れてしまうので遠くから見つけ、少しずつ近寄る。でも何処にいるか私にはまったく分からずニシキアナゴを見ることはできませんでした。
そしてミカヅキツバメウオの登場。ツバメウオが苦手な私はちら見程度で、かわいらしいアカメハゼに夢中に。サンゴに生息する目が赤い体が透明なかわいらしいハゼなのですが、やはりチョコチョコと動くので写真を撮るのは一苦労でした。最後はギンガメアジの群をみて本日のダイビング終了。バリカサグのギンガメアジの群に比べるとやや小さいかな？という気はしましたがマクロもワイドも楽しめるポイントでした。

○タグビララン⇒ドゥマゲティ行きオーシャンジェット

ノバビーチリゾートからタグビララン港までは、車で約30分ほどのところにあります。
オーシャンジェットのチェックインまでは、ノバビーチリゾートのスタッフがアシストしているので、英語が分からなくても安心です。待合室でも、15 分ぐらい前になると、ドゥマゲティー行きというボードを持ったスタッフが案内をしているので、間違った船に乗ることなどもありません。
船内は大変狭くなっているので、ダイビング器材などは、持ち込めません。通常だと、預け荷物の重量と荷物検査を行うのですが、故障していたので、超過荷物の料金はかかりませんでした。
ドゥマゲティに到着すると、タクシー呼び込みやポーターがたくさん待ち構えていますが、声を掛けられても無視。マリンビレッジのスタッフを探しました。船の時間が差し迫っていたので、送迎車に乗ったとたん猛スピード。車が壊れてしまうのではないかというほど、急いだのですが、結局間に合わず、別の港から、車などを運ぶタンカー船に乗ってリロアンまでわたる破目になりました。

オーシャンジェット船内の様子

○リロアンマリンビレッジ

マリンビレッジを訪れるのは今回が3度目ですが、「ただいま！」と言ってしまいそうな雰囲気で迎えてくれます。ダイビングのケアもしっかりしているので、リピータの方がたくさんいらっしゃいますが、こういう雰囲気にしてもらえるのも、リピータが増える1つの要素だと思いました。そして、ようこさんの顔を見ると、安心する気がします。
マリンビレッジは、アネックス（ブンガヴィラ）、デラックス、セミデラックス、エコノミーと分かれています。グループや家族連れなどでゆっくりのんびりしたい方には、アネックス（ブンガヴィラ）がおすすめです。 マリンビレッジにはない、リゾート感が味わえます。

でもやっぱり宿泊するならマリンビレッジのデラックスです。移動も無く、お部屋も広いので、一番宿泊しやすいタイプのお部屋だと思います。デラックスの内装が以前よりも、おしゃれな感じになっていました。

アネックスリビング

アネックス寝室

デラックス 内装

2009年2月2日(月)

リロアンマリンビレッジ　スミロン

1本目　エントリー:7:47　エキジット:8:25　48分ダイビング　水温27度　天気:晴れ
2本目　エントリー:9:25　エキジット:10:15　50分ダイビング　水温27度　天気:晴れ
3本目　エントリー:11:07　エキジット:11:57　45分ダイビング　水温27度　天気:晴れ

今日からリロアンマリンビレッジをベースにダイビングです。本日午前中はスミロンへ
マリンビレッジからスミロンまでは30分ぐらいで到着。
スミロンといえば別名ニチリンダテハゼ団地。と別名をつけてもいいのではと思うくらいニチリンダテハゼがあちらこちらにたくさん生息していました。ここでは1人1ハゼどころか2匹でも3匹でもいくらでもといった感じで好きな個体を見つけて思う存分撮影できます。
またハゼポイントのほかに、サンゴがリーフエッジ沿いに元気に生息しそこを住処にしている色とりどりの魚に癒されたり。ハゼだけではなく、海の中にひときわ目立つ鮮やかな紫のくれないスズメダイやウミシダの色とそっくりに擬態でいるウミシダヤドリエビなどマクロも探せばたくさんいる面白いポイントでした。

リロアンマリンビレッジハウスリーフ

エントリー:14:07　エキジット:15:01　54分ダイビング　水温27度　天気:晴れ

昼食をはさんでいよいよ楽しみにしていたハウスリーフです。以前リロアンを訪れたことのある友人からリロアンのハウスリーフは何回潜っても飽きないと聞いていたので楽しみにしていました。
ディンギーボートで数分。あっという間にポイント到着です。ビーチからもエントリーできる近さ。
いざエントリーしてみるとそこはまさにマクロ好きにはたまらない場所でした。まず1本目のリクエストはピンクスクワットロブスター。すぐに見つかりました。ごつごつしたカイメンに数匹。ピンクの体に白いモシャモシャした毛がかわいらしい。そしてふと横を見るとなにやら大きな岩が動いてる？とおもったらオオモンカエルアンコウがノシノシと動いています。はじめてみました。歩いている姿。そして私の目の前で大きなあくびまで。そしてガラスの

ような目が綺麗なハダカハオコゼ。恵方八方にマクロの被写体がワラワラといます。本当に噂どおりのすごい海でした。

2009年2月3日(火)

リロアンマリンビレッジ　ハウスリーフ

1本目：エントリー：6：47　エキジット：7：32　45分ダイビング　水温26度　天気：曇り
2本目：エントリー：9：13　エキジット：10：01　48分ダイビング　水温27度　天気：曇り
3本目：エントリー：11：02　エキジット：11：56　54分ダイビング　水温26度　天気：曇り

本日はハウスリーフ三昧。よってマクロ三昧の一日です。今日のリクエストはロボコンことアナモリチュウコシオリエビ。
目がアニメのロボコンのようでなんとも愛嬌のある姿です。他に何が見たい？とガイドさんに尋ねられマクロなら何でもＯＫと答えてしまったマクロ馬鹿な私です。
でも本当にマクロ豊富な宝の海のよう。ウミウシもたくさんいるし、オラウータンのような毛並みのオラウータンクラブ、オシャレカクレエビやバラサカクレエビ、ニラギンポなどなど書ききれないほどのマクロ。リーフ内なので流れも穏やかでまったり、ノンビリマクロ探しです。マリンビレッジのハウスリーフにはまりか良いつめるダイバーの気持ちがよく分かりました。

○ドゥマゲティ観光　買物ツアー

最終日の午後は、ダイビングが出来ないため、ようこさんとドゥマゲティの観光ツアーに行きました。マリンビレッジのすぐ隣にある、船乗り場からドゥマゲティまで約15分でドゥマゲティに行くことが出来ます。
マリンビレッジ周辺には若干のサリサリストアがあるだけで、お土産など買える場所はありません。せっかく旅行に来たのだから買物もしたい！！という方にはドゥマゲティ買物ツアーがおすすめです。
街にある、小さな雑貨屋さんに寄りました。安いので、ついついかわいい、カゴバッグ(200 ペソ)を買ってしまいました。ドライマンゴーなどのお菓子類や衣類などは、スーパーで購入します。現地の人たちが利用しているスーパーなので、生活用品なども殆どがそろっていました。マリンビレッジのスタッフも一緒に同行してくれるので、その他にも、何が買いたいのかをリクエストすると、オススメのお店など紹介してくれます。

また、ドルや円は使えませんが、ペソの持ち合わせがないという人でも、ドゥマゲティに到着して、送迎車でお店に向う途中で、両替をしているお兄さんが勝手に車に乗り込んできます。そこでペソの両替をしてもらえます。最初は、驚きましたが、両替の際も、マリンビレッジのスタッフが交渉してくれるので安心です。

海が荒れてしまうと、船が欠航になることもあります。もしいけた場合でも、帰りに欠航になってしまうと、15 分で行ける距離を、タンカー船で 45 分
かけて戻らなくてはなりませんでした。船酔いする方は注意です。

2009 年2月4日（水）

○ドゥマゲッティ⇒マニラ経由で帰国

タグビララン空港同様、小さな空港でした。余裕を持って早めにマリンビレッジを出発しますが、暇つぶしが出来るような場所もないので、チェックイン手続きが完了したら、待合室でひたすら待つのみ。
ドゥマゲティ空港で、マニラ⇒成田行きの搭乗券ももらえるので、マニラ空港でチェックインカウンターに寄る必要はありません。荷物も、ドゥマゲティーから成田までスルーです。
マニラの空港では、往路の反対バージョンで、1階の国内線出口を出た付近のエレベーターに出発階まで上がり、国際線入り口に行くだけです。

研修を終了して

ノバビーチリゾート、マリンビレッジ共に前回訪れたときよりも、様々な面で変化をしていました。一度訪れただけでは、全てのよさをお客様に伝えられないということを、実感しました。

最近では短期間で旅行に行く人が増加しています。短期間で行けるフィリピン。短期間でも中身が濃いプランが、このボホール＆リロアンツアーではないかと思います。今回の研修で学んだことを、多くのお客様に伝え、フィリピンのよさが伝わればと思います。
また、今回の研修でお世話になりました、ノバビーチリゾートの河村さん、マリンビレッジのようこさんをはじめ、スタッフの皆さんありがとうございました。

WE スタッフ
水垣　歩
廣瀬　育実